

平成28年11月30日
(2016年)

保護者の皆様

吹田市立山田中学校
校長 溝口 千鶴

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度、3年生を対象として「平成28年度全国学力・学習状況調査」を実施し、10月中旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・数学の2教科であることを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善を図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の参考にしていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査結果の分析

【 国 語 】

《概要》

A・B問題とも平均正答率は大阪府及び全国値を上回っている。「言語に関する知識・理解・技能」「話す・聞く能力」とも正答率は良好であるが、「書くこと・読むこと」ことにやや課題が見られた。

◎国語A（「知識」に関する問題）

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全領域において全国値を上回っている。

◎国語B（「知識の活用」に関する問題）

「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全領域において全国値を上回っている。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

話すこと・聞くこと

・「互いの発言を検討して自分の考えを広げる」ことは、全国値を上回っている。

書くこと

・「文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く」ことは、全国値を上回っている。
・「課題を決め、それに応じた情報収集を考える」ことにやや課題がある。

読むこと

- ・「目的に応じて『文章を要約する』『必要な情報を読み取る』」ことは、全国値を上回っている。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・「文脈に即して語句を適切に使う」ことは全国値を上回っている。
- ・「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」ことにやや課題がある。



《国語科における成果と今後の改善点について》



今回の調査結果から、生徒の日常の学習成果と努力は確認することができる。特に、「言語に関する知識」や「読む」ことに関して、学習の成果が現れている。昨年度、本校の課題であった「話すこと・聞くこと」については、グループワークの授業を定期的に行うことにより改善は見られるが、「生活習慣や学習環境等に関する調査」でも「話すこと」が課題となっていることから今後も継続して取り組んでいく必要がある。

また、「情報を収集する方法や、根拠を明確にして自分の考えを書くこと」に関してはやや課題が見られる。今後、授業の中で単元の感想や自分の考えの根拠を示して書く機会を増やすことや、図書室やパソコン教室での調べ学習の機会を増やすことなどで改善を図っていく。

【 数 学 】

《概要》

A・B問題とも平均正答率ほどの領域も全国値を上回っている。特に、「数と式」「図形」「関数」に関しては、全国値を大きく上回っている。

◎数学A（『知識』に関する問題）

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」全ての領域において全国値を上回っている。

特に、「数と式」「関数」については全国値を大きく上回っている。

◎数学B（『活用』に関する問題）

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」全ての領域において全国値を上回っている。

特に、「図形」については全国値を大きく上回っている。

《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

数と式

- ・「自然数や一元一次方程式の解の意味を理解する」ことは、全国値を大きく上回っている。

図形

- ・「筋道を立てて考え、証明することができる」ことは、全国値を大きく上回っている。
- ・「証明の必要性と意味を理解している」については、やや課題がある。
- ・「円柱から円すいの体積を求める」ことにやや課題がある。

関数

- ・「『反比例』や『一次関数』のグラフから値を求める」ことは、全国値を大きく上回っている。

資料の活用

- ・「数量や図形などについての知識・理解」については、全国値を大きく上回っている。
- ・「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」については、やや課題がある。

《数学科における成果と今後の改善点について》

今回の調査結果から、習熟度別指導を含む、少人数指導等の成果がみられ、特に「計算力」に関しては、学習の成果が現れている。

しかし、昨年度と同様、「図形を空間で考える力」にやや課題がある。空間上の直線や平面の位置関係の理解については、多くの生徒がつまずきやすい部分ではあるが、今後も少人数指導の特性をいかしたきめ細かな指導を行う。また、事柄の本質を理解したり、自分の言葉で筋道を立てて説明することについてもやや課題があることから、今後授業の中で、アクティブラーニングを積極的に取り入れ、意見を伝える力、発表する力、説明する力の育成に努める。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学校での学習】

- ・「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」については、全国値を上回っている。
- ・「学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ学級のきまりなどを決めていると思いますか」については、全国値を下回っている。
- ・「1、2年生の時に受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」については、全国値を下回っている。
- ・「1、2年生の時に受けた授業では、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」については、全国値を下回っている。



今後、めあての提示、自分で考える時間や、話し合う活動の時間の確保、振り返りの実施等をすすめる。

- ・「読書は好きですか」については、全国値を下回っている。

今後、授業内容と関わる本を紹介したり、読書を行う機会を増やす。



【基本的生活習慣】

- ・「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」については、全国値を上回っている。
- ・「就寝時間」については、全国値に比べて、遅い傾向にある。



【家庭での学習】

- ・「学習塾（家庭教師を含む）で勉強していますか」については、全国値を上回っている。
- ・「学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）」については、全国値を上回っている。
- ・「家で計画を立てて勉強をしますか」については、全国値を上回っている。
- ・「家で学校の授業の復習をしますか」については、全国値を下回っている。



計画を立てて自ら学習する子ども

【家庭や地域】

- ・「家の手伝いをしていますか」については、全国値を上回っている。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」については、全国値を下回っている。



手伝いができる子ども

【将来に関する意識】

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」については、全国値を下回っている。

【自尊意識】

- ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」については、全国値を上回っている。



挑戦する子ども

【規範意識】

- ・「人が困っているときは進んで助けますか」については、全国値を上回っている。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、全国値を上回っている。



人に手をさしのべるやさしい子ども



役に立てる人をめざす子ども